

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成28年度)

施設名	宮崎県福祉総合センター及び県立母子・父子福祉センター
指定管理者	株式会社文化コーポレーション
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年間)
県所管部課	福祉保健部 福祉保健課

1 施設利用状況

指標	H28	H27	H26	増減理由等
会場利用状況(人)	85,360	85,842	78,580	利用人数は昨年とほぼ同数。 H26年度に駐車場を整備、また研修主催団体において交通整理員を配置し駐車可能台数が増加している。 交通指導は、天候不順の影響により人数が微減。
会場利用状況(回)	4,213	4,514	4,568	
交通遊園利用状況(人)	8,755	9,854	10,398	
交通指導状況(団体)	47	47	41	
交通指導状況(人)	2,843	3,170	3,117	
コメント	今後も、駐車台数調整を行いつつ、自主事業開催や施設のPR活動による利用者数の増加を図る必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H28	H27	H26	支出	H28	H27	H26
指定管理料	53,299	53,399	51,211	人件費	10,397	10,139	10,302
雑収入	133	131	0	光熱水費	11,768	11,845	13,102
				委託費	19,298	19,333	18,919
				雑費	5,696	5,263	3,728
合計(①)	53,432	53,530	51,211	合計(②)	47,159	46,580	46,051
収支差額(①-②)	6,273	6,950	5,160				
コメント	H21委託料から施設の修繕経費を300万円とし、指定管理者実施としている。支出について経費節約に努める一方で、施設の運営については特に支障なく実施されている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成28年度に新たに取組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃、全館床ワックス清掃、ガラス清掃、交通遊園・駐車場清掃、建物外周環境整備
	保守・点検	電気設備、空調設備、給排水設備、環境衛生設備、消防用設備、エレベーター、自動扉開閉装置等
	警備	常駐警備(本館)、機械警備(人材研修館)
	修繕	セミナールーム仕切り板修理、空調機部品交換、自動ドア修理、看板設置、ブラインド修理、照明用安定器交換、ドア修理、スピーカー故障交換、漏水補修
	備品等管理	備品検査
	安全対策	事故・緊急事態対応規定に基づく従業員教育、施設内日常巡回、施設遊具の安全点検、防火訓練の実施等
	その他	草刈、樹木・花壇管理(剪定・花植替)
企画運営業務	サービス提供体制整備	会議室利用促進のためのホームページ運営(予約状況確認可)、利用者満足度調査の実施、利用者の声ボックスの設置等
	イベント等ソフト面充実	自主事業セミナー(ヨガ教室、フリーマーケット等)の実施、児童交通遊園での交通安全指導業務等
	施設設備等ハード面充実	階段手摺り設置
	その他	入居団体事務局長会議の実施
管理運営体制	昼礼等による業務連絡等情報の共有化	
コメント	協定書に基づき、適正な管理が図られている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	施設利用者・団体に対するアンケート、利用者の声ボックスの設置
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
利用者アンケートの結果を見ると、施設の利用について概ね満足している意見が多い。	アンケートの結果を踏まえて、今後も利便性等の向上を図る。
利用者の声ボックスで、福祉作業所による施設内清掃が綺麗に行き渡っている旨の投稿があった。	今後も、気持ちよく施設を利用してもらえるよう施設内外の美化に努める。
館内空調について、概ね満足しているが「やや不満」が増加傾向にある。	健康を害することのないよう柔軟な空調運転を行っていく。

5 総合評価

評価コメント	保守点検等の維持管理業務や自主事業等の企画運営業務は確実に実施されており、利用者満足度調査における結果も良好であり、概ね適正に管理運営されている。
今後の課題と対応	福祉目的の施設であることから、徹底した安全管理対策を行うとともに、自主事業内容の充実を図る。また、利用促進に向けてのPRや駐車台数制限に係る案内方法の工夫等を行い、利用者の増加を図る必要がある。